

新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会

平成26年5月10日(土) 午後1時開演

上方舞 浪花音頭

棟茂都梅弥月

歌三味 菊守智子
二味 菊萌文字

長唄 歌右衛門狂乱

山村 侑

歌三味 竹屋東成
二味 今藤政貴
今藤政貴
竹屋祿丈
竹屋勝祿
今藤長三郎
竹屋祿山

地歌 残月

三味 菊央雄司
尺八 藤原道山

編 望月翔太
小鼓 望月太明藏
大鼓 望月太明十郎
太鼓 中村寿庵

浄瑠璃 手事

大谷祥子

浄瑠璃 常磐津巴瑠幸太夫
常磐津三代太夫
常磐津若首太夫
常磐津小欣矢
常磐津小東矢
常磐津三之祐

常磐津 お夏狂乱

三味 常磐津小欣矢

浄瑠璃 常磐津巴瑠幸太夫
常磐津三代太夫
常磐津若首太夫
常磐津小欣矢
常磐津小東矢
常磐津三之祐

【道成寺二題】

地舞舞 古道成寺

吉村廣穂

歌三味 菊原光治
二味 菊萌文字

長唄 娘道成寺

藤間巡子

歌三味 菊原光治
二味 菊萌文字

《蓮子》望月太明藏・望月太明十郎・望月太八二郎／中村寿庵／望月翔太

曲目解説

浪花音頭

浪化の音(冬・月・秋)・花(春)を美しく点綴する作早第。景は北浜辺の夕景色。海川を往来する乗合船で北浜地あたりの料亭に通う客や座の目傘の女性たち。第二景は「任百油の秋の宵」紀伊半島や淡路島の賑わい。月切りで舞く波の美。第三景は「桜の宮の花見時」。淀川東岸の桜宮神社と、花見で賑わう付近の川岸。

歌右衛門狂乱

恋の病に取りつかれた男が「浮かれ浮かれて」無かれ退かれて「さらさらさら」に艶麗に舞う。うつろな精神状態にありながら物や扇を冷静にさばくが、収束することのできない気分の高揚が、曲線的な二枚羽の動きに託される。「保名」久保と同様、男の狂乱だが、固有の人名は設定されていない。

竹内 有

がれて目を迷る。露のよるべの緑結びげに恋は曲者。曲者かんな身はさうくさらさらと寝たれぬ。浮雲のよるべやいづく白糸の。これでもかと思わす。風に和の寝乱れに。へかたしく油の花衣。うつろう色にまかれては移し心と目見湯。ア、恨めしの朝あらし。夢の扉。あつたの露のどこに。誰れてかえなき浮名立つらん。花の夕べの移り香もれて。密に知られぬ。室の口も。かざして行かんかざり車。私う狭のくちもせで。わやくな風のいたずらな誰が小振や懐からぬ。可愛ら。電かわりてちようし汐の日。おちや乳人も腰でも。連れて行くもの花の山。さても見事に。只花に花の色。それにも心も迷わせる。あめ夜君様はいつのいつから迷いもせで。汐の船ほど世がやせぬ。昔は京もせで。友下こまわぬ。鳥かねの愛別よ。鳥か

国立文楽劇場第三十回舞踊・邦楽公演

新進と花形による舞踊・邦楽鑑賞会

平成26年 5月10日(土) 午後1時

上方舞	浪花音頭	棟茂都梅弥月
長唄	歌右衛門狂乱	山村 侑
地歌	残月	三味 菊央雄司 尺八 藤原道山
浄瑠璃	手事	大谷祥子
常磐津	お夏狂乱	浄瑠璃 常磐津巴瑠幸太夫 常磐津三代太夫 常磐津若首太夫 常磐津小欣矢 常磐津小東矢 常磐津三之祐
【道成寺二題】		
地舞舞	古道成寺	吉村廣穂
長唄	娘道成寺	藤間巡子

地方 竹屋東成・竹屋勝祿連中／菊原光治社中 囃子 望月太明藏社中

大谷祥子 藤原道山 菊央雄司 山村 侑 棟茂都梅弥月
藤間巡子 吉村咲輝廣 吉村廣穂 常磐津小欣矢 常磐津巴瑠幸太夫

開演プレ講座 開催! 4月29日(火) 午後3時 (入場無料)

予約開始 4月11日(金) 午前10時～

入場料金 一般4,300円・学生3,000円

窓口販売開始 4月12日(土) チケット完売(午前10時～午後6時)

国立文楽劇場 0570(07)9900-03(3230)3000 (FAX:07)9900-03(3230)3000 (インターネット予約のみ) http://ticket.ntj.jac.go.jp/

1542-0072 大塚市中央区日本橋1丁目12番10号 TEL:06(622)2253(11)

http://www.ntj.jac.go.jp/

●本公演 公演(日本舞踊)終了後21時以降は観覧不可
●本公演のチケットは必ずしも公演当日に限り有効です

2014.5.
新進と花形による
「舞踊・邦楽鑑賞会」出演